

いわき民報

発行所
いわき民報社
平市田町八四番地電一七六番
編集兼発行人 千原克己
編集印刷人 千原克己
(但月曜を除く)
定価一ヶ月十部一十部五十銭

飯野家貴重文献を公開

九月十四、五兩日本社後援で

正しい歴史教育の爲め

平市富月飯野八郎の遺稿を整理し新築中の社務所に於て一般に公開せしめることとなつた。飯野氏は同社創立の文獻を著し、九月十四、五の両日(大祭當日)本社後援のもとに公開することとなつた。この門外不出の古文書は明治年間以來長年閉ざされて居るが、飯野氏は歴史の発展を物語る貴重な文獻で、北條時宗、時宗、北條時義、足利義満、織田信長、結城信俊等の直筆になる軍中狀や卿士の地理の概要を知る按子狀等百八十餘通を始め、徳川家光時代の御朱印狀千三百通あり、山縣文協會長、警中務殿教諭が本文書の

平發勿來行列車増發

泉、植田方面關係に大きな福音

郡山發午後四時の最後平發列車は上り線との連絡線が、小名瀧、植田、勿來方面のものにはやむなく半に泊しなげればならない始末にあるため、郡山發最後列車は午後四時四十分發本線止り列車の勿來までの延長方を先般水戸管線部へ要請したが、鐵道當局もこれを認め現在の平發列車(午後六時四十分)に併せて、午後六時四十分(仙台發列車)は半止りとしてそのかほりに午後七時半平發始發列車一行列車を一本増設することに決定し、十日から即時實施關係者を待たせている。

米配給要望

常磐炭田各礦から、常磐炭田の食糧配給もこゝに週間米とシヤガイモが多く

病人用の氷絶對確保

業者の協力で「病人券」發行

病人用の氷を確保するため、平發水會社から市内へ出している氷は一日千一、三百圓に上り、病人用は最高一日四百圓位であるから、營業用に多少の手心を加へると病人用は心配ない。

ヤマの美化運動展開

大がかりな花壇等も設置して

新結成をみた日蓮佛壇運動部では、十日平市中に初委員會を開き、結成後、金問題等の難案解決に乗り出すとともに、美化運動の展開の一助に花壇設置についても協賛することになつて、この花壇を所屬各長識のうち最も環境のよい炭礦を深んで設置し、こゝには四季をそれぞれ

警察前通り夜店

二、三丁目の店舗が自力で

警察前通り夜店を明るくする運動が市第四部常設委員に依つて取上げられ、街路燈や夜店市場など計画されているが、この夜の街明美化運動に呼應し、二、三丁目警察前通りから平發通りまでの間に街路燈の電燈配線を急ぎ、平發店商業會會長太一さんの應援を求めて十日夜から夜店市場を明るくした。

町名懸賞

一等参百圓贈る

警察前通り、松浦靴店、(電七四)

靴修理切符

平市二丁目平發通り、松浦靴店、(電七四)

真夏に寄席氣分満喫

日中ても涼しい民劇へ！

松竹爆笑名人大會

萬才界の大御所 明朗

音曲萬才 東寶專屬

百面相 藤田

曲藝 藤田

講談 藤田

期日 八月十三、四、五の三日間

ヒル士 時半、ヨル六時半

民衆劇場

貸付提供 鈴重銀行

カースト金大人十五圓、中半十圓、小人五圓

夕涼には御家族連て、笑のひととき

いわき民報

飯野八郎神社でひびく古文書を公開、郷土文化研究の最大のヒット

これを機に各神社、寺院等でも是非史料その他を公開してほしい。

郷土愛は郷土を先づよく理解することによつて生れる。郷土愛は即ち郷土に延長するものを知るべし。

警察前通り夜店

二、三丁目の店舗が自力で

警察前通り夜店を明るくする運動が市第四部常設委員に依つて取上げられ、街路燈や夜店市場など計画されているが、この夜の街明美化運動に呼應し、二、三丁目警察前通りから平發通りまでの間に街路燈の電燈配線を急ぎ、平發店商業會會長太一さんの應援を求めて十日夜から夜店市場を明るくした。

一、警察前通り改修
一、切符 八月十七日
一、申込所 いわき民報社
一、賞金 1参百圓、貳百圓、1参百圓

主催 警察前通り有志

一、發表 八月十九日

